

## 平成27年度事業報告

### □ 活動の概要

コンベンションの開催状況としては、「平成27年度全国老人福祉施設研究会議山形大会（約2,000人）」や「第21回日本集団災害医学会総会・学術集会（約1,800人）」をはじめとする全国規模のコンベンションが33件開催され、東北規模などブロック大会を加えると74件のコンベンションが村山広域圏で開催されました。平成27年度コンベンションでの参加者総数は、約22,200人（うち県外者約13,600人、国外者約20人）となり、村山広域圏に多くの経済波及効果をもたらしました。

コンベンションの誘致及び支援事業においては、主催者・キーパーソンを招請し、コンベンション施設や温泉ホテル、市街地のユニークベニュー【※1】などご覧いただきました。その結果、誘致活動が実り、1件の国際会議が温泉ホテルを会場に決定しました。【※1ユニークベニュー 英語で「特別な（ユニーク）会場（ベニュー）」の意味。歴史的建造物や美術館・博物館などで、会議や懇親会を開くことで特別感や地域の特性を演出できる会場の事を指す。】

また、首都圏の学会・協会本部やキーパーソンへの訪問活動を行いました。さらに、東京で開催された第25回国際ミーティング・エキスポや東北地区と中国・四国地区が合同で開催した誘致懇談会にも参加、村山広域圏のコンベンション開催環境を大いにPRしました。開催されたコンベンションに対しては、開催助成金や国際会議へのアトラクションの支援をはじめ、主催事務局へサポートをし、山形らしい大会になるよう支援を行いました。

コンベンションに関する調査及び広報事業においては、地元紙等マスメディアを活用した広報を行うとともに、山形国際交流プラザ内には引続き賛助会員専用の広告スペースを設け、会員情報の提供に努めました。

山形国際交流プラザ管理運営事業では、展示会、研修会等で2,523件の貸出しを行い、来場者数は約43万人となりました。また、昨年度に引き続き開催した山形ビッグウイングフェスティバルでは、13,500人の方から来場をいただくことができました。

事業別活動状況については、次のとおりです。

## □ 事業別活動状況

### 1 コンベンションの誘致及び開催支援事業

地元の主催団体はもとより、首都圏等の学会・協会本部、事務局を訪問し誘致活動を継続実施、また会議のキーパーソンを招請するなど積極的な誘致活動を実施した。

また支援活動では地元の大会事務局をサポートし、助成金やバスを支援するとともに、地元業者の紹介など幅広い支援活動を行った。

#### (1) 誘致事業

平成27年度に開催が決定した平成28年度以降のコンベンションは、下記のとおりである。

開催年度	開催予定件数	参加者総数	うちH27年度に決定した件数	参加者総数
平成28年度	68件	23,555人	48件	10,565人
平成29年度	21件	5,252人	12件	5,252人
平成30年度	9件	4,080人	9件	4,080人
計	98件	32,887人	69件	19,897人

上記、平成27年度に開催が決定した主なコンベンション

開催年度	会期	開催名称	開催場所	参加者数	うち 県外者数 (外国人)	規模
平成28年度	8/30 ~ 9/2	ACOM2016 (5 <sup>th</sup> AsianConferenceonMixing)	ほほえみの宿 滝の湯	70人	40人 (28人)	国際
	9/11~15	第9回国際黄金色藻シンポジウム ICS9 (9thInternationalChrysophyte Symposium)	山形テルサ	60人	20人 (40人)	国際
	10/9~10	第35回全国父母懇談会・私学助成をす める会交流集会(山形大会)	山形学院高校、 ほほえみの宿 滝の湯	500人	450人	全国
平成29年度	4/19~22	ICEP2017 (InternationalConferenceElectronics Packaging2017)	ほほえみの宿 滝の湯	400人	280人 (100人)	国際
	9/11~14	日本数学会 2017年度秋季総合分科会	山形大学小白 川キャンパス	2,500人	2,300人	全国
平成30年度	5/23~25	第46回日本血管外科学会学術総会	山形テルサ、山 形国際ホテル	2,000人	1,950人	全国
	6/6~9	第41回日本顔面神経学会総会・学術講 演会	山形テルサ	600人	550人	全国

#### ① 誘致訪問活動状況

首都圏・県内域外の学協会本部・キーパーソン等 34団体 延べ40回訪問  
村山広域圏内での新規誘致活動 13団体 延べ17回訪問

#### ② 東北地区&中国・四国地区合同コンベンション誘致懇談会

期 日 平成28年1月19日(火)  
場 所 東京都 都市センターホテル

参加団体 東北地区コンベンション推進協議会会員（16団体）  
中国・四国地区コンベンション推進協議会（11団体）  
参加者 首都圏在住の学会事務局等（112団体 168人）

③ 会議主催キーパーソンの招請

イ. 開催名称：インターナショナル・カンファレンス・エレクトロニクス・  
パッキング ICEP 2017（国際会議：400名規模）

期 日 平成27年6月23日（火）・24日（水）

招 請 者 ICEP2017 実行委員長 植垣祥司 氏  
（ASE マーケティングアンドサービスジャパン（株））  
（一社）エレクトロニクス実装学会事務局 乃万こずえ 氏

内 容 山形市及び上山市、天童市の会場候補ホテルや観光地などを  
視察していただいた。この結果、誘致に成功した。（平成28年  
1月末決定）

会 期 平成29年4月19日～22日

会 場 ほほえみの宿滝の湯（天童市）

参加者数 約400人（うち県外約250人、国外 約100人）

ロ. 開催名称：プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム  
（全国大会：500名規模）

期 日 平成28年2月25日（木）・26日（金）

招 請 者 （公社）プレストレストコンクリート工学会  
専務理事 西垣 善彦 氏、事務局員 青砥 美子 氏

内 容 平成30年度候補地として、会場（山形国際交流プラザ）と懇  
親会用ホテル（ホテルメトロポリタン山形）を視察していただい  
た。（引き続き誘致取組中）

（2）開催支援事業

① 支援訪問活動状況

首都圏・県内域外への支援訪問活動 8団体 延べ9回訪問  
地元各種団体・行政等 106団体 延べ252回訪問

ビューローが支援した団体(主催者)数

開催年度	開催予定件数	参加者総数	支援総数(※)	参加者総数
平成27年度	74件	22,149人	50件	15,092人
平成28年度	68件	23,555人	65件	23,075人
平成29年度	21件	18,812人	8件	4,650人
平成30年度	9件	4,080人	3件	2,300人
計	172件	68,596人	126件	45,117人

※開催予定件数のうちビューローが支援している件数。

② コンベンション開催用貸切バスの支援

「平成27年度全国老人福祉施設研究会議 山形会議」をはじめ15団体に対し、貸切バスの費用を交付した。

[15件総額：1,575,500円]

開催名称	主会場	参加者数	交付実績
第10回全国山菜サミット in 大江	大江町町民ふれあい会館 山里交流館 他	520人	100,000円
平成27年度第33回土砂災害防止全国の集い	山形テルサ	725人	100,000円
地域の新たな支えあい全国サミット in むらやま	村山市民会館/飯葉プラザ	404人	77,760円
全国中小企業青年中央会 平成27年度通常総会	山形グランドホテル	261人	54,000円
平成27年度全国小学校社会科研究協議会研究大会	山形テルサ、山形市立東小学校、 山形市立第二小学校	419人	100,000円
第4回内視鏡下耳科手術ハンズオンセミナー in 山形	山形医学交流会館	93人	100,000円
日本家族心理学会 第32回大会	山形大学小白川キャンパス 山形テルサ	327人	67,820円
日本科学教育学会 第39回年会	山形大学小白川キャンパス	377人	75,920円
第54回(平成27年度)(公社)日本地すべり学会研究発表会及び現地見学会	山形テルサ	520人	100,000円
第614回建設技術講習会	山形テルサ	203人	100,000円
平成27年度全国老人福祉施設研究会議 山形会議	山形国際交流プラザ、山形市内 各ホテル等	2,000人	200,000円
第40回全日本高等学校書道教育研究会 山形大会	山形テルサ	230人	100,000円
第40回全国高等学校長協会体育部会、第50回全国高等学校体育学科・コース連絡協議会	山形国際ホテル	133人	100,000円
第45回日本神経放射線学会	山形テルサ	308人	100,000円
第21回日本集団災害医学会総会・学術集会	山形国際交流プラザ	1,757人	200,000円

③ コンベンション開催助成金

「第21回日本集団災害医学会総会・学術集会」をはじめ5団体に対し、山形県・山形市・天童市の制度を利用し助成金を交付した。

[5件総額：3,904,500円]

開催名称	主会場	参加者数 (交付対象)	交付実績
平成27年度全国小学校社会科研究協議会研究大会(※)	山形テルサ、山形市立東小学校、山形市立第二小学校	419人 (254人)	375,000円
日本科学教育学会 第39回年会	山形大学小白川キャンパス	377人 (300人)	450,000円
平成27年度全国老人福祉施設研究会議(※)	山形国際交流プラザ、山形市内各ホテル等	2,000人 (863人)	1,125,000円
第40回全日本高等学校書道教育研究会 山形大会	山形テルサ	230人 (203人)	304,500円
第21回日本集団災害医学会総会・学術集会(※)	山形国際交流プラザ	1,757人 (1,267人)	1,650,000円

表中※：申請額が上限になるため上記額。

④ 山形空港、山形駅、村山駅、天童駅、左沢駅に歓迎看板を掲示

山形空港と開催地の最寄り駅や会場等24件の国際・全国規模のコンベンションに対し歓迎看板を掲示し参加者を出迎えた。

⑤ コンgressバッグやネームホルダーの提供

山形の観光地や食をデザインしたコンgressバッグを作成し、21件の主催者に合計6,570袋を支援した。なお、主催者からは、1袋50円の負担をいただいている。

また、31件の主催者にネームホルダーの提供又は無料貸出しを行い主催者の経費負担の軽減を図った。

⑥ 主催者向け便利ツールの提供、その他の支援

主催者向け便利ツールや山形県や開催地が制作する観光パンフレットを提供するとともに「山形紹介DVD」の貸出を行い、主催者を支援した。

## 2 コンベンションに関する調査及び広報事業

国内で唯一のコンベンションに特化したトレードショー【※2】「国際ミーティング・エキスポ」に出展し、村山広域圏の宣伝を行った。また、マスメディアを利用して地元主催者に向けビューローの活動を周知するとともに、主催者・参加者に好評な山形おもてなしガイド「ウマイベヤマガタ」を制作し配布した。

さらに、村山広域圏のコンベンション開催状況を把握するとともに今後の予定などを調査した。

【※2トレードショー ある特定の取引に携わる個人や企業のための商品やサービスの展示会を指す。】

## (1) 調査事業

### ① コンベンション開催情報の収集と開催意向の調査

大学・行政・各種団体・施設（合計311ヶ所）に対し調査を実施し、28年度以降の開催予定について、延べ113件の情報を得た。

### ② コンベンション動向等に関する調査研究

コンベンションネットワーク会議の開催

期 日 平成27年8月31日（月）

場 所 山形市 山形国際交流プラザ 4階研修室

講演会 同場所で開催したMICEセミナーに参加していただいた。

### ③ コンベンション地図及び交通アクセスデータの更新

主催者等に提供するコンベンション地図データ及び7市7町までの交通手段や時間を記載した交通アクセスデータを更新した。

### ④ 各種会議への参加(主なもの)

- ・日本コンGRESSコンベンションビューロー（JCCB）20周年記念式典

期 日 平成27年7月16日（木）・17日（金）

場 所 千葉県浦安市 東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート

- ・東北地区コンベンション推進協議会定例総会

期 日 平成27年9月3日（木）・4日（金）

場 所 福島県郡山市 郡山商工会議所

- ・東北地区コンベンション推進協議会職員研修会

期 日 平成27年10月22日（木）・23日（金）

場 所 新潟県上越市 町屋交流館高田小町

## (2) 広報事業

### ① 第25回国際ミーティング・エキスポへの出展

期 日 平成27年12月9日（水）・10日（木）

場 所 東京都 東京国際フォーラム

出展者数 147団体・企業（共同出展団体・企業含む）122小間

来場者数 3,441人（2日間合計）

実 績 山形ブース来場者 84団体100人

（コンベンション主催者等）

## ② MICE【※3】セミナーの開催

開催名称 チーム山形MICEセミナー2015

基調講演 メディアは使う時代から創る時代へ

オウンドメディアで切り開くローカル・ブランディングと地方創生

講師 東洋大学総合情報学部 准教授 藤本貴之 氏

期 日 平成27年8月31日(月) 14時～16時15分

場 所 山形国際交流プラザ 4階中会議室

参加者数 72人(45社・団体)

【※3MICE Meeting(会議・研修・セミナー)、Incentive tour(報奨・招待旅行)、Convention または Conference(大会・学会・国際会議)、Exhibition(展示会)の頭文字をとった造語で、ビジネストラベルの一形態を指す。】

## ③ ホームページ等による情報発信

ホームページを活用しビューローの活動や支援制度の紹介やコンベンション開催情報・関連情報(観光、賛助会員、コンベンション地図、交通アクセスデータ)等を提供するとともに、県外参加者向けに山形の天候などの情報も提供した。

また、facebook ページも開設し、より迅速に親しみやすい内容で情報を発信した。

## ④ 山形おもてなしガイド「ウマイベヤマガタ」の企画・制作および配布

コンベンションの参加者に配布するため、山形おもてなしガイド「ウマイベヤマガタ」を50,000部制作(冊子とweb版)、地元の飲食店・宿泊・交通・観光レジャー情報などを発信した。

さらに、45件のコンベンション主催者へ約16,000部を提供、その他掲載店や関連施設等でも配布した。

{掲載内容:118頁、広告掲載店160店(319枠)、7市7町観光物産紹介など}

## ⑤ やまがたMICEナビ・アプリ更新

コンベンションの参加者(旅行者)や主催者用のコンテンツで構成した、スマートフォン、タブレット用のアプリケーション(アプリ)「やまがたMICEナビ」(無料)の情報を更新し、村山広域圏の情報を発信した。

概要 iphone と Android 双方に対応。日本語版と英語版がある。

内容 「主催者ツール」ビューローの支援制度をはじめ施設情報、関連業者(賛助会員)情報など。

「参加者ツール」宿泊情報、交通アクセス、飲食店など来県時に必要な情報。

関 連 観光だけではなくMICE視点でのアプリは全国的にも珍しく、観光庁からの聞き取り調査を受け、報告会での発表もおこなった。

⑥ JR山形駅自由通路ショーケースを活用した広報

山形駅自由通路に設置されたショーケースを活用し、カレンダーの掲示や支援コンベンションのポスターを掲示するなどし、開催されるコンベンションを周知した。

⑦ プラザ内、村山広域圏観光物産展示コーナーの常設展示

村山広域圏観光物産展示コーナーにおいて、様々な観光・物産などを紹介した。

⑧ ビューロー事業活動の広報

○ 機関紙「ルネッサンス」の発行

年2回（7月、1月）発行し、ビューロー活動の周知を図るとともに、賛助会員の紹介等を行った。

○ マスメディアを利用した広報事業

- ・新聞等広告掲載 5回
- ・ラジオ C M 2局
- ・賛助会員の広告 プラザ内に広告スペースの提供

○ 山形空港での電飾看板の掲示

山形空港の到着口に電飾看板を掲示しビューローの広報を行った。

### 3 山形国際交流プラザの管理運営事業

#### (1) 27年度の利用状況など

年間利用件数が全ての区分において過去最高の利用実績となり、施設利用料については昨年度と比較すると約2%増加した。

① 年間利用件数

(単位：件)

	平成27年度	平成26年度	平成25年度
展示棟	133	114	119
会議棟	2,327	2,313	2,319
その他	63	54	52
合計	2,523	2,481	2,490



② 年間来場者数

(単位：人)

	平成27年度	平成26年度	平成25年度
来場者数	422,135	455,852	445,043

開館以降来場者数累計 15,078,349人

③ 年間施設利用料

(単位：円)

	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用料	158,757,699	155,912,310	167,075,251

(2) 安全安心の確保

災害時等に備えた「危機対応マニュアル」を改訂整備し、緊急時に迅速な対応が取れるよう体制づくりを図った。また、不測の事態に備え事務所職員等を対象に普通救命講習を受講した。

(3) 適切な維持管理及び利用者への満足感の提供

利用者から要望があったトイレの洋式化や会議室のカーテン生地修理などを行い利用者サービスに努めた。また、施設内照明を段階的にLED化し、節電や省エネに努めた。

① 利用者情報交換会の開催

利便性の向上並びにプラザの利用促進を目的として、主催者から利用時における要望や意見等を伺うとともに、速やかに対応した

期 日：平成27年12月17日(木)

場 所：山形国際交流プラザ会議室

参加者数：14人

② モニタリングの実施

施設を利用された主催者及び来場者を対象にアンケート調査を実施した。

それらにより得た要望などについては、できるものから対応し、リピーターの確保に努めた。

<主催者対象>

調査期間：平成27年9月1日～30日

配布枚数：176枚(回収率：56.8%)

### ③ 全国展示場連絡協議会等への参加

全国60施設で構成されている全国展示場連絡協議会の会議に出席し、他施設との情報交換を行い連携の強化を図った。

#### 〈総会〉

期 日：平成27年7月9日（木）

場 所：神奈川県 パシフィコ横浜

#### 〈実務担当者会議〉

期 日：平成28年1月27日（水）

場 所：千葉県 幕張メッセ

#### 〈北海道・東北ブロック会議〉

期 日：平成27年11月17日（火）

場 所：宮城県 夢メッセみやぎ

## （4）自主事業の実施

### ① 山形ビッグウイングフェスティバルの開催

この催事は、平成26年に山形ビッグウイング開設20周年を記念して行われたもので、この度で2回目の開催となった。

「食」をテーマとした村山広域圏（7市7町）うまいものフェアを開催し、物産品・名産品等の販売やPRを行った。

共催事業として、山形市伝統的工芸品まつり、みちのくこけしまつり、山形らーめんフェスタを開催した。

期 日：平成27年11月7日（土）・8日（日）

場 所：山形国際交流プラザ 展示場他

来場者数：13,500人

### ② 山形国際交流プラザ館長杯グラウンド・ゴルフ大会の開催

国際交流広場の利用拡大及び市民の健康増進を図ることを目的に、山形市グラウンド・ゴルフ協会の協力を得て行った。

期 日：平成27年6月30日（火）

場 所：山形国際交流プラザ 国際交流広場

参加者数：239人

### ③ 地場産業紹介コーナーの設置

地元産業の振興を図ることを目的として、プラザ1Fエレベーター前の展示コーナーに「山形市美と技の伝統工芸」と題し、山形鋸などの展示を行った。

#### ④ 子どもの映画教室の実施

山形ドキュメンタリーフィルムライブラリーの利用促進並びにPRを目的とし、認定NPO法人山形国際ドキュメンタリー映画祭の協力を得て実施した。小中学生を対象に手作りで立体的に見えるように加工した映像を作成し、出来上がった作品の上映などを行った。

期 日：平成28年3月5日（土）

場 所：山形国際交流プラザ 試写室他

参加者数：30人

#### (5) 利用促進に向けたセールス活動等の実施

プラザの利用拡大を目的に、主に県外利用者や過去の利用者、類似施設を使用している主催者等を訪問した。また、過去に利用した主催者向けにDMの発送を行った。

## 4 総務

### (1) 理事会・評議員会等

#### ① 監事監査

開催日 平成27年4月24日（金）

開催場所 山形国際交流プラザ

監査内容 平成26年度事業報告等、平成26年度計算書類等、平成26年度公益目的支出計画実施報告

#### ② 第1回通常理事会

開催日 平成27年5月26日（火）

開催場所 山形グランドホテル

決議事項 平成26年度事業報告及び同附属明細書の件、平成26年度計算書類及び同附属明細書の件、平成26年度公益目的支出計画実施報告の件、評議員会の日時及び場所の件、評議員会の目的事項の件

報告事項 平成27年度業務執行状況の件

#### ③ 定時評議員会

開催日 平成27年6月16日（火）

開催場所 山形グランドホテル

報告事項 平成26年度事業報告の件、平成26年度公益目的支出計画実施報告の件

決議事項 平成26年度計算書類の件、評議員の選任の件、理事の選任の件、  
監事の選任の件

④ 第2回通常理事会

開催日 平成28年3月22日(火)

開催場所 山形グランドホテル

報告事項 平成27年度第1回理事会以降の事業執行状況の件

決議事項 平成28年度事業計画の件、平成28年度収支予算の件、事務局長  
の選任の件

(2) 人材育成

組織形成や専門的な知識を深めることを目的とし、各種研修に参加し職員の能力開発を図った。

主なもの

① 会計セミナー

期 日 平成27年10月8日(木)・9日(金)

場 所 宮城県 ハーネル仙台

② 平成27年度自衛消防隊リーダー研修会

期 日 平成27年10月20日(火)・21日(水)

場 所 山形県東田川郡三川町 山形県消防学校

③ 中堅社員研修

期 日 平成27年10月21日(水)・22日(木)

場 所 東京都 第2龍名館ビル

(3) 自衛消防総合訓練の実施(年2回)

消防法で定められた自衛消防総合訓練を、財団職員と常駐委託業者が一体となって実施した。

期 日 1回目 平成27年 6月25日(木)

2回目 平成27年12月16日(水)

#### (4) 各部門の収支概要

##### ① コンベンション・総務部門

収入	54,711,434円(A)
支出	55,238,703円(B)
当期収支差額 (A) - (B)	△527,269 (C)
前期繰越収支差額	13,511,035円(D)
次期繰越収支差額 (C)+(D)	12,983,766円

##### ② ビックウイング部門

収入	209,821,006円(A)
支出	207,589,995円(B)
当期収支差額 (A) - (B)	2,231,011円(C)
前期繰越収支差額	28,695,135円(D)
次期繰越収支差額 (C)+(D)	30,926,146円

##### ③ 全体

収入	264,532,440円(A)
支出	262,828,698円(B)
当期収支差額 (A) - (B)	1,703,742円(C)
前期繰越収支差額	42,206,170円(D)
次期繰越収支差額 (C)+(D)	43,909,912円